



# 知立市【愛知県】 歴史文化基本構想

■ 策定年月：平成30年3月 ■ 人口：71,800人 ■ 面積：16km<sup>2</sup>  
■ 担当課：知立市教育委員会 文化課（平成30年3月現在）



知立市の自然・社会・人文環境や歴史の変遷を整理し、市域内外を問わず知立市の歴史文化に関わるすべてのものを知立市の「歴史文化遺産」とし、その保存・活用を通じたまちづくりを推進することを目的とする基本構想を策定した。

## 5 歴史文化を表す つのキーワード

東海道池鯉鮒宿と松並木、伝説と景勝地・八橋、知立神社、  
山車文楽とからくり、あんまき（知立名物のお菓子）

### 課題

- ・ 開発等による景観の変化
- ・ 山車文楽とからくり等の伝統芸能の保存と後継者不足
- ・ 歴史文化遺産を活用したまちづくり

### 保存活用方針

- ・ 歴史文化遺産の普及と保護の推進
- ・ 歴史文化遺産の適切な活用の推進
- ・ 行政と地域社会の連携・協働に向けた体制づくりの推進

## 保存活用のための取り組み

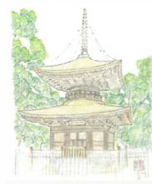
### 歴史文化遺産の普及と保護の促進

歴史文化遺産保護のための情報収集・発信の充実に向け、歴史文化遺産に関する刊行物の作成やイベント等の開催を実施する。そうすることで、市民の身近に歴史文化遺産があることに関心・理解を深めていく。



### 関連文化財群の保存・活用の推進

歴史文化遺産の保存と関連文化財群の充実化を図る。また、物語及び関連する歴史文化遺産の普及・周知を推進する。



### 歴史文化遺産の適切な活用の推進

歴史文化遺産を活用した学校教育・生涯学習の充実や、ユネスコ無形文化遺産にも登録された「知立の山車文楽とからくり」等の多様な歴史文化遺産の積極的な公開を推進する。



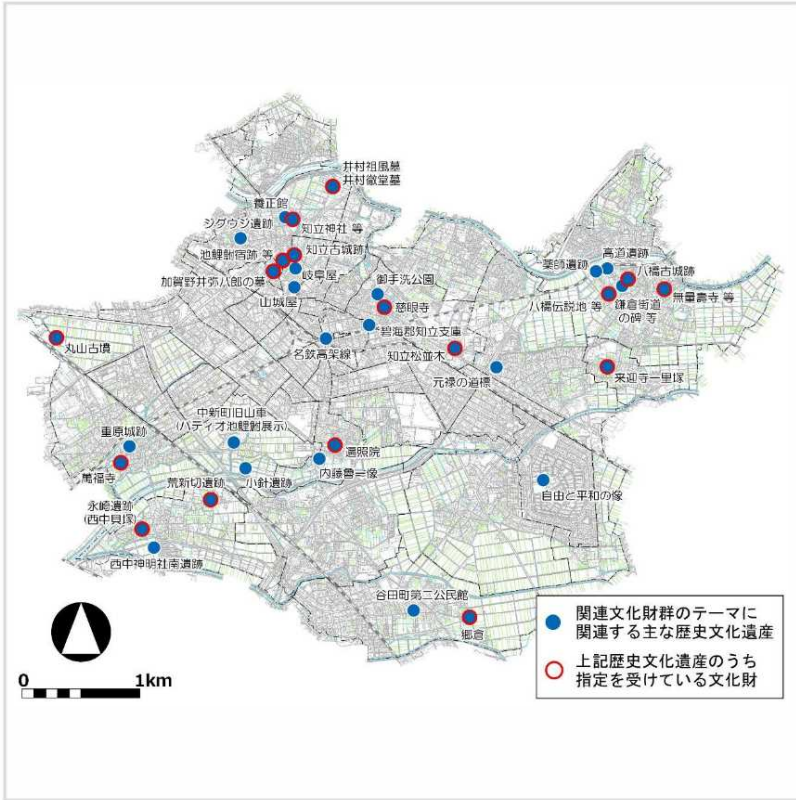
### 行政と地域社会の連携・協働に向けた体制づくりの推進

地域の人々を中心となって歴史文化遺産の保存・活用に取り組んでいくために、市民主導の歴史文化遺産周辺の清掃活動や歴史文化遺産のサポーター制度等の仕組みづくりを推進する。





## 関連文化財群



知立市の歴史文化の特徴である「地名とその名を冠した知立神社」と「東国への玄関となる尾張と三河の境での交流」で示した8つの具体例に基づき、双方に関連するテーマも含め、9つのテーマを設定した。そしてテーマを分かり易く伝えるため、各テーマを物語る上で重要となるストーリーを設定した。

### ストーリー

- ① 古代から引き継ぐ地名
- ② 知立神社の信仰と祭祀
- ③ 山車文楽とからくりにより 継承されてきた交流
- ④ 逢妻川・猿渡川を通じた交易
- ⑤ 古代東海道と名所八橋
- ⑥ 鎌倉街道と戦国武将らの盛衰
- ⑦ 近世東海道と池鯉鮒宿の繁栄
- ⑧ 鉄道の開通と知立の近代化
- ⑨ 道路と鉄道の発展と宅地開発



## 策定後の成果（見込まれる効果）

### 歴史文化遺産への理解の促進

知立市の歴史文化遺産について整理し、関連文化財群としてまとめることができた。これらを冊子・ホームページにて公開することで、市民や関連団体が知立の歴史文化遺産に関心をもち、理解を深める契機となることが期待できる。



### 関係部局との連携の促進

歴史文化基本構想策定にあたり、行政の関係部署にも策定作業に協力いただいた。策定後も他部局と連携を図る契機となり、都市計画マスタープランなど他の計画の策定・改訂においても本構想の方針が反映されることを期待できる。



### 課題の共有と活用の促進

知立山車文楽の後継者不足など、文化遺産が直面している課題を社会全体で共有することで、課題を乗り越え、歴史文化遺産を活用する気運の高まりが期待できる。

